

流山市高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の評価について

令和元年 1 0 月 2 4 日

1．評価の目的等

（1）目的

地域包括ケアシステムの深化に向けた取り組みを加速させることを目的として、組織・運営体制及び業務の状況等を定期的に把握・評価し、その結果を踏まえて、事業の質の向上のために必要な改善を図ります。

（2）経緯

平成30年度施行の改正介護保険法により、市町村や地域包括支援センターは、地域包括支援センターの事業について評価を行うとともに、必要な措置を講じなければならないとされ、これまで努力義務とされてきた評価が義務化されました。

流山市では、既に平成25年度（評価期間：平成24年度）から市独自の評価指標を策定して事業評価を行っています。市独自の評価指標については概ね達成できている状況です。

令和元年度（評価期間：平成30年度）は、国が策定した全国統一の評価指標（「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について」（平成31年4月22日付老振発0704第1号厚生労働省老健局振興課長通知））を用いて、事業評価を行いました。

2．評価対象

流山市高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター） 4 か所

3．評価期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

4．評価の流れ

時期	内容
平成31年2月8日～3月7日	(1)窓口利用者・介護支援専門員へのアンケート調査

	高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の窓口利用者と介護支援専門員へアンケート調査を実施しました。
平成31年4月24日～令和元年5月13日	(2)高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）による自己評価 国から通知された「地域包括支援センター運営状況調査票」を用いて自己評価を行いました。
令和元年7月24日・東部・南部 令和元年8月2日・中部・北部	(3)高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）へのヒアリング 流山市地域包括支援センター運営協議会が選出した「評価委員」5名が高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）に、下記①～③をもとにヒアリングを実施しました。 <div>①平成30年度流山市高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）事業評価一覧 ②平成30年度事業実績報告書・令和元年度事業計画書 ③アンケート結果</div>
令和元年8月21日	(4)評価委員会における評価のまとめ 評価委員会にて、ヒアリングの結果をもとに、評価をまとめました。
令和元年8月26日～9月6日	(5)高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）へのフィードバック 評価委員会による評価のまとめを、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）へフィードバックし、同相談室が事業の質の向上のために必要な改善方法を検討しました。
令和元年10月24日	(6)令和元年度第3回運営協議会での承認 評価委員会による「評価のまとめ」と高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）による「改善案」を、流山市地域包括支援センター運営協議会に報告して、承認を得ました。

5． 評価指標等

(1) 評価指標

別紙「事業評価一覧」及び「参考資料3」をご覧ください。

国が策定した評価指標は、複数年にわたる研究から策定されたもので、全国の多くの地域包括支援センターで当然に実施されていることは、評価指標とはなっていません。地域包括支援センター及び保険者（市）の機能強化を進めるため、国の策定した評価指標を用いました。

(2) 評価の段階

- ① 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）
- 全55項目について、「はい・いいえ」の2段階で自己評価しました。
- ② 評価委員会
- 全55項目を分類した11項目について、「◎優れている・○できている・△要改善・×至急改善が必要」の4段階で評価しました。

6． 評価結果の公表

運営の透明性を高めるとともに、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の事業内容を周知するため、下記の方法で公表します。

- ・ 流山市ホームページ
- ・ 流山市役所情報公開コーナー
- ・ 流山市役所高齢者支援課
- ・ 流山市高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）

7． 評価結果

- (1) 各高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の評価結果
- 別紙「平成30年度流山市高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）事業評価一覧」をご覧ください。
- (2) 流山市地域包括支援センター運営協議会の総評
- （令和元年度第3回流山市地域包括支援センター運営協議会より）
- 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の運営は、市内4か所全て適切に行われています。

昨年度から国の指標を用いたことで、課題が明確となり、具体的

な改善に結びついています。残された課題については、引き続き改善に向けて取り組んでください。

この評価を高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の自己評価に留めず、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）と市が互いに確認の機会として、連携を強化してください。

8． 流山市地域包括支援センター運営協議会が示す令和2年度（評価期間：令和元年度）の評価の方向性

- （令和元年度第3回流山市地域包括支援センター運営協議会より）
- 国の指標を用いることで、高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）の強みと弱み、課題等が見えやすくなりました。今後は、さらに国平均や県平均、同規模自治体とも比較・分析し、事業の質の向上に努めてください。ただし、地域の実情によってセンターに求められることも実施状況も異なるため、単純な比較をすることなく十分に注意して活用してください。

9． 別紙

別紙の内容	ページ
(1)事業評価一覧	3～6
(2)参考資料1(平成30年度事業実績報告書・令和元年度事業計画書)	
・ 北部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)	7～9
・ 中部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)	10～12
・ 東部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)	13～15
・ 南部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)	16～18
(3)参考資料2(アンケート結果)	
・ 利用者	19～21
・ 介護支援専門員	22～25
(4)参考資料3	
・「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について」（平成31年4月22日付老振発0704第1号厚生労働省老健局振興課長通知）	26～35